

特集

高齢者の漢方 知っておきたい効き方・使い方・副作用

悪いところを取り除くのではなく「生体の防衛力を高める」というアプローチの漢方薬。認知症などに処方されることが増えてきた今、訪問看護師だからこそ知っておきたい知識をまとめました。薬効のチェックポイントや飲みやすい服用方法を、事例をもとに学びましょう。あまり知られていない副作用や気をつけたい西洋薬との併用も解説します。

なぜ「在宅高齢者にこそ」漢方なのか? ●寺澤捷年

【実践事例で知る 在宅漢方の使い方】

①認知症に伴う症状、抑うつ・不眠 ●田原英一

②脳血管障害、悪性腫瘍、胃ろう管理 ●佐藤伸彦

③末期がんでの在宅看取り ●今津嘉宏

高齢者によく処方される漢方薬の副作用 ●寺澤捷年

こうすれば飲める 効果的な服薬指導 ●田澤寛子

漢方薬の患者説明・対応のポイント ●小池潤

【コラム】

高齢者の漢方数え歌／漢方薬は料理だ／

漢方薬とコンピュータ ●九鬼伸夫

介護家族とナースに効果的な漢方薬／「食前」「食間」って?

●今津嘉宏

INTERVIEW ケアする人々

高田常雄さん(日本鍼灸師会介護予防委員会、健康ハウス・タカダ)

編集後記

医療ニーズの高い方の「泊り」のサービスの重要性への指摘が続いています。自費でのお泊りデイサービスが拡がり、法整備されるまでの基準づくりが各自治体で進められてもいますが(p.902に関連ニュース)、(療養通所介護は別として)看護体制は手薄です。9号巻頭の柴田さんはケアつき住宅への短期入居で、10号巻頭の櫻井さんと本号特集の松木さんは複合型サービスで、そのニーズに応えようとしています。一方、本号巻頭の原田さんが挑むは単独型ショート。デイより報酬が安いにもかかわらず、看護職を24時間常駐させて看取りにも対応します。原田さんが提案する「機能強化型ショートステイ」は効果的かつ現実的です。“箱モノ”サービスに訪問看護の発想をどう活かすのか。その実際を巻頭で詳しくお伝えしています。…杉本

小誌編集室に配属されてほぼ半年。「訪問看護ってなんだろう?」という疑問に、ずばり答えてくれる特集を担当させていただきました。編集作業を終えてみて感じるのは、その幅広さと奥深さ、そしてこれからもっと広く深くなっていきそうというワクワク感。利用者さんのいろいろな生き方、死に方を支えるために、訪問看護師さんたちがとった方法は千差万別で、『これ』が訪問看護だ!というより「利用者実践者の数だけ訪問看護がある」というほうが正しいのかもしれませんが。そのエッセンスを引き出し、多くの人に伝わる言葉やデータに変えていくこともまた、刺激的でももしろい取り組みだと改めて感じました。11月の在宅看護学会が楽しみです!…栗原

訪問看護と介護 第19巻 第11号(通巻221号) 2014年11月15日発行(毎月1回15日発行)

発行:株式会社医学書院 代表者:金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2014, Printed in Japan

1部定価:本体1,300円+税 2014年間購読料(税込,送料弊社負担,年間12冊):13,580円(冊子版)/

16,580円(冊子+電子版/個人)/18,600円(冊子+電子版/共有)/13,580円(電子版/個人)/15,600円(電子版/共有)

販売部:☎03-3817-5659 社内案内:☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室:☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当:栗原・杉本・早田

✉houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複製,スキャン,デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学,病院,診療所,企業などにおいて,業務上使用する目的(診療,研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは,その使用範囲が内部的であっても,私的使用には該当せず,違法です。また私的使用に該当する場合であっても,代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は,そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構

(☎03-3513-6969, FAX03-3513-6979, ✉info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

※「訪問看護と介護」は,株式会社医学書院の登録商標です。